



(I) 人間の尊厳と平等

Work ● 日本の履歴書はアウト？

2021年から厚労省による新様式が示された履歴書であるが、今から30年以上前の時代の様式を入手した。新旧の履歴書を比較して異なる点を整理してみましょう。

STEP1 新旧履歴書の違いを整理し、なぜ変わったかを考えてみよう。

変わっている点	なぜそのような変化があった？

STEP2 新履歴書を見て、更に変えるべきと思う点を考えてみよう。

変えるべき点	なぜそのように変えるべきと思った？

新しい履歴書でも、世界的に見るとアウトな部分が多々ある。平等な扱いや差別解消を実現するための動きが、日本はまだ遅れているのかもしれない。人権・平等はどのようにすれば確保されるのか、考えていきましょう。

- ^[1] (自然権)] : 人間が生まれながらにもつ権利のこと
⇒これを保障できる国の在り方を旨し、社会契約説の提唱 (ホブズ・ロック・ルソー)

背景 絶対王政の下で、個人の自由が抑圧される。国家から不当な扱いを受けるのはうんざり → 革命

- 18世紀的権利 **自由権** = “国家からの自由” 政治権力から不当な弾圧を受けない権利
- 19世紀的権利 **参政権** = “国家への自由” 労働環境の悪化などを背景に、労働者の権利主張がおこる
- 20世紀的権利 **社会権** = “国家による自由” 生存権や労働基本権など、社会的弱者の平等を求める声が高まる

★人権獲得の歴史：POINT≫イギリス→アメリカ→フランスの順に整理！

国	年号	出来事	内容
英	1215	2	イギリス王に封建貴族や聖職者の特権を認めさせる ジョン王は逮捕拘禁権や課税権の濫用をやめると約束
	1628	3	王に対し課税への議会の承認や、人身の自由を要求
	1689	4	1688年の 名誉革命 を経て、議会在が制定 →人身の自由、信教・言論の自由などを含む
米	1775～83	アメリカ独立革命	イギリスの植民地での独立戦争
	1776	5	世界初の人権宣言 といわれる。自然権や革命権を規定。
	1776	6	起草者はジェファソン。 ロックの思想を受け継ぎ、 人間の平等や、自然権や革命権を明記。
	1787	アメリカ合衆国憲法	歴史上初めての近代的な成文憲法。 三権分立 を採用。
仏	1789～99	フランス革命	租税の重い負担などに不満を持った参政権を持たない 人々を中心に発生した、フランスの政治変革運動。
	1789	7	国民議会在が採択。自由権・革命権・ 権力分立 を規定。
独	1919	8	社会権を保障した、20世紀型憲法の先駆け
国連	1948	9	人間の尊厳を守ることを明記。 [¹⁰]がないことに注意！
	1966	11	[⁹]の内容を具体化し、[¹⁰]のある形で発表。 1976年に発効され、日本は1979年に一部を除き批准

■そのほかの人権条約

1965 [¹²] (日本批准 1995)

1989 [¹³] (日本批准 1994) 児童の意思表示や家族からの攻撃などに対する法的な保護を規定

■障害者差別問題

1960 [**障害者雇用促進法**] 制定：国や企業に障がい者を一定割合以上で雇用することを**義務付け**

2006 [**障害者の権利条約**] 制定

2013 [**障害者差別解消法**] 制定：障害者権利条約に基づき、人権保護のための合理的配慮を求める

■男女差別問題

1979 国連総会で**女子差別撤廃条約**が採択

1985 [**男女雇用機会均等法**] 制定

1999 [**男女共同参画社会**] **基本法** 制定

Think🗨️ ジェンダーとは何か？

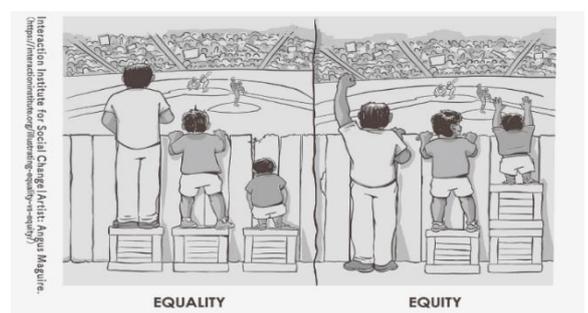
性別には生物学的な性差 (Sex) と、文化的・社会的に作られた性差 (Gender) が存在する。

「男は青、女はピンク」「男は仕事、女が家事」というものが一例であるジェンダーが性差別の根源と主張される。

女性が差別的扱いを受けることが多いため、積極的に差別を是正する措置が求められる。

この積極的差別是正のことを[¹⁴]

(**アファーマティブ・アクション**) といい、平等を実現するために重要な措置である。





(I) 人間の尊厳と平等

Work ● 日本の履歴書はアウト？

2021年から厚労省による新様式が示された履歴書であるが、今から30年以上前の時代の様式を入手した。新旧の履歴書を比較して異なる点を整理してみましょう。

STEP1 新旧履歴書の違いを整理し、なぜ変わったかを考えてみよう。

変わっている点	なぜそのような変化があった？
本籍が無くなっている	出生地による差別防止
保護者・家族構成が無くなっている	本人とは関係のない家族関係での差別防止
学歴の中学が無くなった	中学から居住地や育った環境が推測されてしまう
性別記入欄が任意になっている	性別や性的少数者の差別防止

STEP2 新履歴書を見て、更に変えるべきと思う点を考えてみよう。

変えるべき点	なぜそのように変えるべきと思った？
顔写真は不要	顔採用される訳ではない、病気や障害が顔からわかる場合への配慮
年齢も不要	年齢による差別を防ぐため
性別は任意でなく欄をなくす	任意とすると書かないことがプレッシャーとなる
学歴は簡略化して、自己PRを増やす	過去ではなく、これからの意思を尊重させられるように

新しい履歴書でも、世界的に見るとアウトな部分が多々ある。平等な扱いや差別解消を実現するための動きが、日本はまだ遅れているのかもしれない。人権・平等はどのようにすれば確保されるのか、考えていきましょう。

■^[1] **人権** (自然権)] : 人間が生まれながらにもつ権利のこと

⇒これを保障できる国の在り方を目指し、社会契約説の提唱 (ホブズ・ロック・ルソー)

背景 絶対王政の下で、個人の自由が抑圧される。国家から不当な扱いを受けるのはうんざり → 革命

18世紀的権利 **自由権** = “国家からの自由” 政治権力から不当な弾圧を受けない権利

19世紀的権利 **参政権** = “国家への自由” 労働環境の悪化などを背景に、労働者の権利主張がおこる

20世紀的権利 **社会権** = “国家による自由” 生存権や労働基本権など、社会的弱者の平等を求める声が高まる

★人権獲得の歴史：POINT≫イギリス→アメリカ→フランスの順に整理！

国	年号	出来事	内容
英	1215	² マグナカルタ	イギリス王に封建貴族や聖職者の特権を認めさせる ジョン王は逮捕拘禁権や課税権の濫用をやめると約束
	1628	³ 権利請願	王に対し課税への議会の承認や、人身の自由を要求
	1689	⁴ 権利章典	1688年の 名誉革命 を経て、議会在が制定 →人身の自由、信教・言論の自由などを含む
米	1775～83	アメリカ独立革命	イギリスの植民地での独立戦争
	1776	⁵ バージニア権利章典	世界初の人権宣言 といわれる。自然権や革命権を規定。
	1776	⁶ アメリカ独立宣言	起草者はジェファソン。 ロックの思想を受け継ぎ、 人間の平等や、自然権や革命権を明記。
	1787	アメリカ合衆国憲法	歴史上初めての近代的な成文憲法。 三権分立 を採用。
仏	1789～99	フランス革命	租税の重い負担などに不満を持った参政権を持たない 人々を中心に発生した、フランスの政治変革運動。
	1789	⁷ フランス人権宣言	国民議会在が採択。自由権・革命権・ 権力分立 を規定。
独	1919	⁸ ワイマール憲法	社会権を保障した、20世紀型憲法の先駆け
国連	1948	⁹ 世界人権宣言	人間の尊厳を守ることを明記。 [¹⁰ 法的拘束力]がないことに注意！
	1966	¹¹ 国際人権規約	[⁹]の内容を具体化し、[¹⁰]のある形で発表。 1976年に発効され、日本は1979年に一部を除き批准

■そのほかの人権条約

1965 [¹² **人種差別撤廃条約**] (日本批准 1995)

1989 [¹³ **子どもの権利条約**] (日本批准 1994) 児童の意思表示や家族からの攻撃などに対する法的な保護を規定

■障害者差別問題

1960 [**障害者雇用促進法**] 制定：国や企業に障がい者を一定割合以上で雇用することを**義務付け**

2006 [**障害者の権利条約**] 制定

2013 [**障害者差別解消法**] 制定：障害者権利条約に基づき、人権保護のための合理的配慮を求める

■男女差別問題

1979 国連総会で**女子差別撤廃条約**が採択

1985 [**男女雇用機会均等法**] 制定

1999 [**男女共同参画社会**] **基本法** 制定

Think🗨️ ジェンダーとは何か？

性別には生物学的な性差 (Sex) と、文化的・社会的に作られた性差 (Gender) が存在する。

「男は青、女はピンク」「男は仕事、女が家事」というものが一例であるジェンダーが性差別の根源と主張される。

女性が差別的扱いを受けることが多いため、積極的に差別を是正する措置が求められる。

この積極的差別是正のことを[¹⁴ **ポジティブ・アクション**] (アファーマティブ・アクション) といい、平等を実現するために重要な措置である。

